

革新する技術、創造する未来～夢へ翔る熊本高専～

# 熊本高専だより

KUMAMOTO KOSEN

2024.12  
号外  
extra news

## 今号のテーマ 高専大会！ロボコン！プロコン！

- 八代キャンパス バドミントン部 女子ダブルス 全国大会優 勝
- 熊本キャンパス 高専ロボコン 地区大会準優勝 全国大会準優勝
- 八代キャンパス 高専ロボコン 地区大会優 勝 全国大会技術賞



## Contents

- 01 全国高専大会
- 04 高専ロボコン 2024
- 05 全国高専プロコン
- 06 大会結果一覧

## 全国大会を通して学んだこと



建築社会デザイン工学科1年 宮村 颯那 (剣道部)

私は九州高専大会剣道競技女子個人の部で優勝し、9月に北海道で開催された全国高専大会に出場しました。

全国高専大会に向けて8月から部活の先輩や顧問の先生、中学校の同級生や先生などたくさんの方々に協力していただきました。夏休みは毎朝走ったり、出身中学校の部活に参加したり、自主練習がきつくて挫折しそうになったこともありました。ですが、それ以上に日々の成長にやりがいを感じ、優勝したいという気持ちが芽生え、より毎日の練習に力を入れるようになりました。

大会の結果は3位になり、うれしい反面やっぱり悔しい気持ちが大きかったです。これらの経験から、日々の積み重ねの大切さや目標をもつことの重要性を学ぶことが出来ました。

この夏に学んだことはこれからの高専生活でも活かすことができると思うので、継続していきたいです。そして、来年も優勝という目標に向けてさらに成長できるよう頑張っていきたいと思っています。

## 全国高専大会剣道競技に参加して

情報通信エレクトロニクス工学科4年 中條 日向 (剣道部)

私は、9月7日に北海道旭川市で開催された全国高専大会の剣道競技大会に男子個人戦で出場しました。熊本C剣道部からは他にも女子個人戦に2名が出場しましたが、私は一回戦で敗退し、非常に悔しい結果となりました。昨年の九州高専大会ではベストを尽くせず全国大会出場を逃したため、その悔しさを胸に今年は主将として多忙な中でも部活動に全力で取り組んできました。今年の九州高専大会は熊本での開催ということもあり、多くの方々の支えを受けながら全力を發揮し、全国大会への出場を決めた瞬間は大きな喜びでした。しかし、全国の舞台では実力を十分に發揮できず、「本番に弱い」という自分の課題を改めて痛感しました。来年に向けては、状況に応じた柔軟な対応力を養い、困難な場面でも冷静に判断できるよう経験を積むことが重要だと感じています。そのため、今年はさまざまな挑戦を通じて成長し、来年は団体戦・個人戦ともに全国優勝を目指し、ラスト1年を悔いの残らないように全力で努力していきます。



## 最後の全国高専大会



建築社会デザイン工学科5年 小森田 夏実(バドミントン部)

私は今年の夏、バドミントン競技の個人戦ダブルスで全国高専大会に出場しました。全国高専大会にダブルスで出場したのは3回目でしたが、今回初めて優勝することができました。過去2回出場した全国では、九州で戦ったライバル達が表彰台に上がる中で1回戦負けしており、どうしようもない悔しさともどかしさ、全国で結果を残すことの難しさを痛感しました。その分今年の全国だけは絶対に優勝したいという思いは誰よりも強かったと思います。だから今回、1年生の時からペアを組んできた竹下と一緒に今までで一番良い、自分達の納得のいくプレーで優勝することができて本当に嬉しかったし、ほっとしました。結果が全てではないかもしれないけれど、私は最後まで結果にこだわって練習してきた良かったと思えました。改めて、お世話になったコーチ、顧問の濱邊先生、私以上に負けず嫌いだけど練習はさぼりがちで、でも試合になると誰よりも頼りになる竹下にも感謝したいです。後輩達も頑張ってね。



## 全国への挑戦と仲間との信頼関係の大切さ



情報通信エレクトロニクス工学科4年 清田 駿介(テニス部)

8月に北海道苫小牧市で行われた全国高専大会テニス競技に、嶋田竜也君(CI3)とダブルスで出場しました。地区大会ではシングルスでも全国大会出場を目指していましたが、準決勝で負けてしまいました。そしてシングルス敗戦後のダブルス準決勝では、落ち込んだまま試合に臨みました。そんなときダブルスパートナーの嶋田君が自分を励ましてくれ、なんとか気持ちを取り戻すことができ、決勝まで進むことができました。

この地区大会で自分は勝敗以上に仲間との信頼関係の大切さを実感し、今まで一人で戦う意識が強かった自分が誰かと協力し、高めあうことの素晴らしさに気づくことができました。全国大会では残念ながら初戦敗退しましたが、この大会で充実感を味わえることができました。このような経験ができたのも保護者の方や顧問の先生方、部員みんなの協力と支えがあったおかげなので感謝の気持ちを忘れずに、来年も全国大会を目指して練習していきたいと思えます。



## 皆で頑張った高専大会

建築社会デザイン工学科4年 光永 愛実 (卓球部)

卓球部は、北海道釧路市で行われた全国高専大会に、男女団体、男子シングルス1名、女子ダブルス2組が出場しました。

九州大会では全種目で入賞し、皆で良いプレーができたと思います。昨年も全員での全国大会出場が目標でしたが、ともに団体準優勝で悔しい思いをしました。私は昨年の経験をずっと思い出しながら、1年間頑張りました。優勝できとても嬉しかったです。

5年生6名は毎日ハードな練習を積み重ね、その結果、団体戦で全国大会出場を果たしました。常に後輩たちを行動でリードし、練習の大切さを教えてくれた先輩方にはとても感謝しています。

全国大会の団体戦は、男女とも3位決定戦で敗れ悔しかったです。皆で楽しめました。私は女子ダブルスで3位でした。過去2回の全国大会で予選敗退を経験し、プレッシャーがありました。予選を1位で通過できた時とメダルをかけた時に頑張った良かったと思えました。

来年も全員で全国大会に行けるように頑張ります。



## 全国高専大会に参加して

情報通信エレクトロニクス工学科4年 福島 優太 (水泳部)

私は北海道で開催された全国高専大会に出場し、200m個人メドレーで9位、100mバタフライで7位という成績を収めました。自己ベストを更新することはできず、悔しい思いをしました。100mバタフライでは目標としていた決勝進出を果たし、入賞することができ、大きな達成感を味わうことができました。全国大会という大舞台で全力を尽くし、自分の力を試す貴重な機会を得られたことは、大きな意味があったと感じています。今年水泳

部から3人が全国大会に出場し、仲間とともに切磋琢磨し、励まし合いながら競技に臨めたことも、忘れられない思い出となりました。これまで水泳を続けてこれたのは家族や顧問の先生、一緒に練習してくれた部員の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。この感謝の気持ちを忘れずにこれからの人生を送っていきます。



## 「高専ロボコン地区大会に参加して」

制御情報システム工学科4年 釜 陽 輔 (ロボコン部)

10月13日に、宮崎県都城市にて高専ロボコン九州沖縄地区大会が開催されました。熊本キャンパスロボコン部からは、Aチーム「ASTRABBITs (アストラビッツ)」とBチーム「星射必宙 (セイシャヒツチュウ)」の2チームが出場しました。Aチームは惜しくも予選敗退となりましたが、セメダイン株式会社様より特別賞をいただきました。また、Bチームは準決勝ですべてのミッションを完了するミッションコンプリートを達成し、決勝で惜しくも八代Bチームに敗れ準優勝となりましたが、審査員推薦により3年ぶりに全国大会に出場することとなりました。

私は今年も部長としてロボコン部の活動を支えてきましたが、今年は例年以上にロボコンに対する思いが強く、その思いがこの全国出場という結果につながったのだろうと確信しています。

最後に、我々の活動を支えてくださったすべての皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。憧れの国技館の舞台上で全力のパフォーマンスが見せられるよう、これからもさらに精進してまいります。応援よろしくお願いいたします。



## 高専ロボコン九州沖縄地区大会に参加して

機械知能システム工学科2年 桑原大翔 (ロボコン部)



私たちは10月13日(日)に高専ロボコン九州沖縄地区大会に参加しました。競技課題は「ロボたちの帰還」。ロボットの接地不可ゾーンを挟んだフィールドで複数のロボットを使ってオブジェクトを回収し帰還する競技です。八代キャンパスからはAチーム「天涯海角」とBチーム「MilkyHighWay」が参加、Aチームはアイデア賞を頂き、Bチームは2回のVゴールを経て、熊本キャンパスBチームとの激戦の末、優勝しました。

私はBチームのピットクルーとロボット1台の設計者として参加しました。試作しては投げて壊れるの繰り返しで、また大会1週間前には4年生の先輩方が研修旅行で不在となりリーダーを代理するなど、不安なことは多々ありましたが、チームを導き優勝できた経験を来年に活かしていきたいと思います。

最後に、顧問の先生方や技術職員の皆様、OB、後援会の皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。引き続きご理解ご協力の程を宜しく申し上げます。



## 第35回高専プロコンを終えて

機械知能システム工学科 4年 武藤 淳之助 (情報システム研究部)



今大会、情報システム研究部は、環境保全活動をゲーミフィケーションする「育てるエコタウン」、ものを美しく修復する伝統工芸を手軽に体験できる「金継ぎVR」、「シン・よみがえれ世界遺産」という問題をアルゴリズムで解く競技部門の3チームで出場しました。

私自身は「金継ぎVR」チームのUnity開発プログラマとして参加したのですが、部長として全体をマネジメントしつつ自身の開発も進めていくというマルチタスクは新しい経験で、プログラマとしてだけでなく人間としても成長できた1年だったと自負しています。

また、競技部門チームは特別賞と企業賞をダブル受賞する大健闘を見せ、「育てるエコタウン」チームも組み込みデバイス開発やBLE通信など新しい取り組みに挑戦しました。

様々な面でご指導やサポートをしていただいた教職員の皆様には、感謝申し上げます。また、何より後輩たちがぐっと育ってくれたことが一番うれしかったです。皆さんありがとうございました。



## 高専プロコンに参加して



情報通信エレクトロニクス工学科 3年 永松 日月 (電算部)

私たちは、奈良県で開催された第35回全国高専プログラミングコンテストの競技部門に参加してきました。今回の内容はパズルゲームで、1,024マス～65,536マスに分割し、順番をシャッフルされた画像が与えられるので、それを正しい画像に並べなおすという内容でした。通信やアルゴリズムの作成、使いやすいソフトウェアの開発など、さまざまな技術が求められるものでした。

このチームは、4年生2人と3年生1人の3人編成で、ルールが発表されてから半年間、定期的集まり準備を進めました。私は主にソフトウェアの開発とアルゴリズムを担当しました。今回のアルゴリズムは授業で習ったものだけでは足りず、必死に実装を進め、大会直前まで改善に励みました。

結果は準決勝敗退となり、応援して下さった皆さまや「ファーストペンギンズプロジェクト」で学習施設を整えて下さった先生方、そして昨年一緒に戦った先輩方に申し訳なく思っています。この経験をもとに、次回はさらに成長し、より洗練されたチームで臨みたいと考えています。



# 国立高等専門学校体育大会等結果一覧

第61回九州沖縄地区高専体育大会		
<b>陸上</b>		
▶熊本		
男子1500m	田中 清雅	6位
男子110mH	小橋 昂央	優勝
男子400mH	小橋 昂央	優勝
女子100m	前川 真穂	優勝
女子やり投げ	前川 真穂	準優勝
▶八代		
男子100m	柿本 晃太郎	準優勝
男子400m	水田 悠人	優勝
男子110mH	星田 琉太郎	6位
男子やり投げ	志賀 柁軌	6位
<b>卓球</b>		
▶八代		
男子団体		準優勝
橋本 拓未	橋岡 駿	
桑原 愛翔	坂口 智哉	
村上 慶起	中村 朋麒	
下瀬 蒼空	福田 普人	
男子シングルス	坂口 智哉	準優勝
橋本 拓未		3位
男子ダブルス		
橋本 拓未	坂口 智哉	3位
桑原 愛翔	中村 朋麒	3位
女子団体		優勝
光永 愛実	櫻田 藍	
新富 柚月	勇 滯里	
入江 泉樹	坂田 麻衣子	
女子シングルス	光永 愛実	3位
勇 滯里		3位
女子ダブルス		
新富 柚月	坂田 麻衣子	優勝
光永 愛実	勇 滯里	準優勝
<b>水泳</b>		
▶熊本		
男子100m自由形	押川 彰馬	8位
男子400m自由形	松寺 正親	6位
男子100mバタフライ	福島 優太	準優勝
男子200mバタフライ	押川 彰馬	準優勝
男子200m個人メドレー	福島 優太	優勝
男子400mフリーリレー		8位
福島 優太	西村 匠史	
長田 春輔	押川 彰馬	
女子100m背泳ぎ	戸田 麻友	優勝
女子100mバタフライ	戸田 麻友	優勝
▶八代		
男子50m自由形	河野 裕太	5位
男子100m自由形	河野 裕太	3位
男子200m自由形	山本 樹	6位
男子400m自由形	渡並 俊介	準優勝
男子800m自由形	渡並 俊介	準優勝
男子100m背泳ぎ	熊谷 柁哉	7位
男子100m平泳ぎ	山本 樹	8位

男子400mフリーリレー		6位
渡並 俊介	山本 樹	
河野 裕太	熊谷 柁哉	
男子400mメドレーリレー		6位
渡並 俊介	山本 樹	
吉村 滉一郎	熊谷 柁哉	
女子50m自由形	堀川 桃子	5位
女子100m自由形	金光 美咲	5位
	堀川 桃子	8位
女子200mフリーリレー		4位
堀川 桃子	下釜 涼那	
村田 光咲	金光 美咲	
女子200mメドレーリレー		4位
堀川 桃子	下釜 涼那	
村田 光咲	金光 美咲	
<b>バドミントン</b>		
▶八代		
女子団体		準優勝
小森田 夏実	竹下 ほのか	
西村 羽誕	中村 琉那	
渡邊 莉奈	坂口 奈々	
永井 天那	永井 春妃	
女子シングルス	小森田 夏実	3位
女子ダブルス		
小森田 夏実	竹下 ほのか	優勝
西村 羽誕	永井 天那	3位
<b>バレーボール</b>		
▶八代		
女子		3位
江崎 叶藍	寒川 知花	
橋本 唯名	今村 莉子	
山崎 美空	後藤 優月	
古原 日美香	鶴田 しおり	
山川 凜璃子		
<b>柔道</b>		
▶熊本		
男子73kg級	伊佐 羽月	3位
▶八代		
団体		準優勝
岩井 洲例也	太鼓 悠介	
迫 大佑	伊佐 魁馬	
山田 悠大朗	小畑 勝吾	
志水 健祐		
男子66kg級	迫 大佑	3位
男子73kg級	伊佐 魁馬	準優勝
男子81kg級	太鼓 悠介	優勝
<b>テニス</b>		
▶熊本		
男子シングルス	清田 駿介	3位
男子ダブルス		
清田 駿介	嶋田 竜也	準優勝
▶八代		
女子ダブルス		
園田 碧彩	松村 梨世	3位
<b>剣道</b>		
▶熊本		
男子個人	中條 日向	3位
女子団体		3位
佐藤 希濤	井手上 蘭	
角田 優良々		

女子個人	佐藤 希濤	準優勝
	井手上 蘭	3位
▶八代		
男子団体		3位
原 匠見	佐藤 滉太	
愛甲 翔吾	吉田 峻平	
有馬 恵人		
女子団体	筧 智晶	準優勝
	宮村 颯那	
女子個人	宮村 颯那	優勝
<b>ハンドボール</b>		
▶八代		
女子		1位(女子リーグ)
飯谷 彩乃	佐生 恵美子	
竹田 真麻	林 小梅	
黒木 心	平田 葵子	
吉良 和佳	山内 花南	
木村 月乃蘭	櫻井 富稀	
松田 祐奈		
<b>第59回全国高等専門学校体育大会</b>		
<b>陸上</b>		
▶熊本		
男子110mH	小橋 昂央	7位
男子400mH	小橋 昂央	6位
女子100m	前川 真穂	4位
女子やり投げ	前川 真穂	8位
<b>水泳</b>		
▶熊本		
男子100mバタフライ	福島 優太	7位
<b>卓球</b>		
▶八代		
女子ダブルス		
光永 愛実	勇 滯里	3位
<b>柔道</b>		
▶八代		
男子73kg級	伊佐 魁馬	3位
<b>バドミントン</b>		
▶八代		
女子ダブルス		
小森田 夏実	竹下 ほのか	優勝
<b>剣道</b>		
▶八代		
女子個人	宮村 颯那	3位
<b>第10回九州沖縄地区弓道大会</b>		
<b>弓道</b>		
▶八代		
個人	渡邊 圭登	2位
<b>第77回熊本県高等学校陸上競技対校選手権大会</b>		
<b>陸上</b>		
▶熊本		
男子400mハードル	小橋 昂央	2位
女子やり投	前川 真穂	5位
<b>令和6年度熊本県高等学校空手道新人大会</b>		
<b>空手道</b>		
▶八代		
女子個人組手(-48kg級)	山尾 彩碧	優勝

# コンテスト等結果一覧

<b>高専ロボコン 2024 九州沖縄地区大会</b>
▶熊本
<b>星射必宙 (セイシャヒッチュウ)</b> 準優勝・特別賞(東京エレクトロン株式会社) 藤木 貴大 根岸 アリス 東 和哉
<b>ASTRABBITs (アストラビッツ)</b> 特別賞 (セメダイン株式会社) 島川 俊輔 鍋島 優羽 宮原 敦也
▶八代
<b>MilkyHighway (ミルキーハイウェイ)</b> 優勝 齋藤 広平 内川 龍馬 高山 蒼
<b>天涯海角 (テンガイカイカク)</b> アイデア賞 馬越 樹 馬越 航 竹原 翔斗
<b>高専ロボコン 2024 全国大会</b>
▶熊本
<b>星射必宙 (セイシャヒッチュウ)</b> 準優勝 藤木 貴大 根岸 アリス 東 和哉
▶八代
<b>MilkyHighway (ミルキーハイウェイ)</b> 技術賞 齋藤 広平 内川 龍馬 高山 蒼
<b>第57回九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト</b>
▶熊本
<b>プレゼンテーション部門</b> 長谷部 凜 1位 古嶋 樹 2位 橋口 怜矢 審査員特別賞
<b>第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト</b>
▶八代
<b>【課題部門】金継ぎ VR</b> 敢闘賞 武藤 淳之助 山下 遼太 盛高 雄寛 脇田 龍之介 吉里 彩心
<b>【課題部門】育てるエコタウンー誰でも楽しく環境活動ー</b> 敢闘賞 岩谷 奏慈郎 廣野 達徳 緒方 亮太 高見 勇斗 高山 透也
<b>【競技部門】whileTrue:print (“HelloProcon”)</b> 全国5位・特別賞・企業賞(アパナード株式会社) 石堂 優人 嶋中 海人 高松 龍希
<b>第21回全国高専デザインコンペティション</b>
▶八代
<b>【空間デザイン部門】私の集落は柑橘色</b> 三菱地所コミュニティ賞 江藤 直太郎 田中 文裕 徳本 豪海 光永 愛実

<b>第3回 POLUS 木造住宅インターハイ</b>
▶八代
<b>【造形・造作部門】ツルの家 ～ともに育つ～</b> 佳作 永井 天那
<b>【設計部門】水の中で暮らす</b> 奨励賞 下田 美月 新富 柚月
<b>【設計部門】Seanery</b> 奨励賞 山尾 彩碧 田中 伶央名
<b>第16回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会</b>
▶八代
<b>【モジュール部門】夏の出発駅</b> ベストクオリティ賞・ベストムービー賞 磯部 大樹 北田 陽菜 段本 千帆 永田 柗 米村 煌嘉 大森 学
<b>Japan Steel Bridge Competition 2024 (JSBC2024)</b>
▶八代
<b>Kuma Bridge</b> 総合部門3位 鬼塚 晏利 木村 和真 中ノ瀬 玲 山下 遼太 村井 陽向子 紙屋 勝仁 田副 開士
<b>第15回半導体材料・デバイスフォーラム</b>
▶熊本
<b>二段階低温熱処理により形成したGeSn結晶の評価</b> ポスター発表 優秀賞 菊本 翔太
<b>第5回創生アイデアコンテスト</b>
▶熊本
<b>Res-Q</b> 最優秀賞 田代 結菜
<b>2024 ロボットアイデア甲子園熊本大会</b>
▶熊本
<b>見守り保育ロボット “ぎゅっロボ”</b> 最優秀賞 根岸 アリス
<b>「IoT」で世界に涼を</b> SMC賞(企業賞) 椎葉 心美
<b>Japan AT フォーラム 2024</b>
▶熊本
<b>「なぞり読みシステム “TouchTalker” の障害者利用に向けた KME (多機能) スイッチインタフェースの開発」</b> 研究成果発表 優秀賞 坂田 由利菜

<b>分身ロボットの視線操縦システムについて</b> 研究成果発表 優秀賞 森 海
<b>税に関する高校生の作文</b>
▶熊本
<b>ストップ!税金の無駄遣い</b> 菊池税務署長賞 鶴田 悠真
<b>熊本県高校新人バドミントン大会</b>
<b>バドミントン</b>
▶八代
男子団体 ベスト8 田崎 蒼唯 黒木 哉政 高沢 颯 岩瀬 湊 上永田 健輔 緒方 蒼人 谷口 和駿 洲崎 駿
<b>日本福祉工学会九州支部大会 2024</b>
▶熊本
<b>LLMを用いた分身ロボットシステムの開発</b> 最優秀発表賞 堤 哲之介
<b>2段階のAIを用いた注視領域推定モデルの構築</b> 優秀発表賞 坂口 竜也



熊本高専だより

2024.EXTRA NEWS

【発行】広報戦略室 令和6年12月

## 編集後記

高専の制度が60年を迎え、関係者が多方面で活躍し、注目を集めています。社会の変革や多様な価値観の広がり、そして地球規模の危機に、高専の学生や教職員も立ち向かう気概を持ち、学びを深めています。半世紀にわたる高専の先人方が紡いでこられた汗の結晶から数々のプロジェクトが立ち上がり、今また希望の種として次の時代へと託されています。その志が力強く芽吹き、より良い社会を実現する大樹へと成長することを願い、共に歩み続けましょう。



熊本高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Kumamoto College

熊本キャンパス

〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2  
TEL 096-242-2121

八代キャンパス

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627  
TEL 0965-53-1211

<https://kumamoto-nct.ac.jp/>

